



青森中央学院大学 地域マネジメント研究所

ACGU Regional Management Research Institute

青森中央学院大学地域マネジメント研究所は、平成16年4月に設立され、地域の経済・産業・経営・政治・行政・法律・社会・文化活動をはじめ、グローバルな諸問題についての調査研究活動を展開しています。地域社会に開かれた研究機関として、皆さま方と連携しながら新たな社会的価値を創造し、地域社会に貢献してまいります。

事業内容

- ① 地域の諸問題やグローバルなテーマに関する調査研究と研究成果の公表
- ② 他の研究機関等とのネットワーク構築と共同研究の実施
- ③ 時宜に適ったテーマによる公開講座やシンポジウム、セミナーの開催
- ④ 地域産業、社会を支援するコーディネート活動やアドバイス活動の展開
- ⑤ 官公庁・団体・企業等からの調査研究、計画策定研修・人材育成等の受託
- ⑥ 各種分野の講師派遣、斡旋
- ⑦ 刊行物の発行、ホームページによる情報発信
- ⑧ その他「地域マネジメント研究所」の目的を達成するための事業

受託研究・奨学寄附金の受け入れ

青森中央学院大学では、産官学連携の一環として、受託研究、奨学寄附金の受け入れをしています。詳しくは、本学ホームページをご覧ください。

研究所スタッフの書籍紹介



小松原 聡 著
『戦略経営の基本フレームと実践：価値創造企業へ進化するDX時代の経営システム・デザイン』(文眞堂、2023年)
ISBN 978-4-8309-5209-8



日本型企業再生モデル研究ワーキング・グループ編(小松原聡分担執筆)
『DX時代をリードする新日本の経営のデザイン：世界で勝てる価値創造経営を実現する現場力活用』(文眞堂、2022年)
ISBN 978-4-8309-5162-6

青森中央学院大学 地域マネジメント研究所

〒030-0132 青森市大字横内字神田12番地
青森中央学院大学
TEL: 017(728)0131(代)
FAX: 017(738)8333
Email: research@aomoricgu.ac.jp

学校法人青森田中学園

青森中央学院大学 経営法学部・看護学部
青森中央学院大学大学院 地域マネジメント研究科
青森中央短期大学 食物栄養学科・幼児保育学科
青森中央経理専門学校
青森中央文化専門学校



青森中央学院大学 地域マネジメント研究所ニュースレター

ACGU Regional Management Research Institute

青森中央学院大学 地域マネジメント研究所

第11号
2024年4月発行

「大学生による関係人口受入支援組織の構築業務に関する実証研究事業」

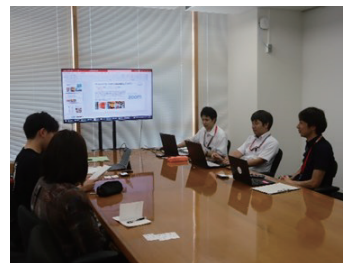
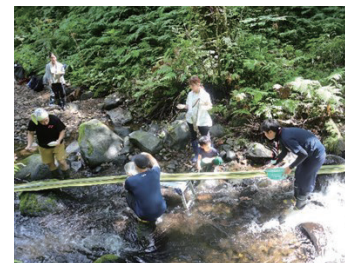
竹内紀人研究員が、青森学術文化振興財団の助成を受け、「大学生による関係人口受入支援組織の構築に関する実証研究事業」を実施しました。

関係人口受入をサポートするための学生団体を組織し、現地視察やヒアリング調査、勉強会を重ね、ワーケーションプログラムを作成、実施しました。最終報告会として、2024年1月19日(金)、ワーケーションセミナー「これからの青森ワーケーションを考える」を青森中央学院大学で開催し、蓬田村・今別町における親子ワーケーションのサポート事例や、ワーケーション先進地の新潟県妙高市で行った視察について、行政関係者や観光関係者、学生など約100名の参加者に報告しました。

このセミナーでは、一般社団法人妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会ワーケーション

コーディネーターの竹内義晴氏による基調講演で、地域資源を活かして設計されたワーケーション事例が紹介されました。個人だけでなく、企業をターゲットとしたときに、単なる“ワーケーション”に留まらず、いかに業務としての目的や利用者のニーズに適った価値を提供できるかを考え、企業の課題を共に解決するプログラムづくりを目指した、重厚で多様で魅力ある先進事例に、多くの示唆を得ました。

ワーケーション参加者との交流プログラムを企画し、実施する本事業を通して、学生自身が地域の魅力を知り、郷土に関心と誇りを持つようになること、また、将来的に県内定住や地域貢献意欲に繋がる可能性をもたらしうることなど、関係人口の増加のみならず、若手人口定着や人材育成の観点でも大きな効果が見込まれることが実証されました。



「学生によるアオモリワーケーション体験・交流プログラム企画運営業務」

東青地域5市町村(青森市、平内町、今別町、外ヶ浜町、蓬田村)への移住、関係人口の拡大を図るため、青森市が実施している事業の一環として、ワーケーションの「体験・交流プログラム」を学生が企画・運営し、ワーケーション体験者に実際に提供する取組みを実践しました。

青森中央学院大学経営法学部の山谷清秀講師ゼミの学生は、外ヶ浜町「地域住民との交流と地域資源の再発見」として、プログラムを企画、運営しました。

事前調査や現地視察、プレ試行、青森市をワーケーションで訪れた方との交流会などにより、外ヶ浜町の蟹田・平館・三厩の各地区の資源や施設を活かし、リフレッシュ効果をもたらする休暇型ワーケーションを提供するプログラムを企画しました。

この事業を通じ、学生たちは、働き方の多様な選択肢を学ぶとともに、外からの視点で地域の魅力を発見し、対外的な調整や交渉を経験するなど、他者や外との繋がりを体験しました。



「学生起業塾」

高校生・大学生の起業家意識の向上を目的とした「学生起業塾」を、2023年8月17日(木)、18日(金)の2日間、青森商工会議所1階 AOMORI STARTUP CENTERで開催しました。

青森県内の高校生・大学生10名が参加し、本研究所の中村陽一教授、一般社団法人社会デザイン・ビジネスラボ三尾幸司事務局長、植松宏真 AOMORI STARTUP CENTERコーディネーターの講師陣による講義や、ゲストスピーカーによる体験談や質疑応答、グループワークを行い、起業の基本について身体的に学びました。

2日目に行ったフィールドワークでは、青森駅前でのインタビューにより顧客や地域の課題を掘り起こし、その後、地域課題解決のビジネスアイデアを発表し、会場で共有しました。

この起業塾の前、2023年7月1日(土)に「ブレ・学生版起業塾」として開催した、青森市産官学連携プラットフォーム主催「学生STARTUP Seminar ～青森で挑戦したいワカモノへ～」では、大学生を対象にワークショップを行い、ビジネスアイデアの契機や端緒についてブレーストーミングを体験しました。

学生起業塾
2023年8月17日(木)・18日(金)
参加費 無料
会場：青森商工会議所1階 AOMORI STARTUP CENTER
時間：17日9:00～17:30 / 18日9:00～17:00
定員：20名程度
対象：青森県内に在住の大学生・高校生
参加申込：8月10日(金)まで
申込先：青森中央学院大学 地域マネジメント研究所



ビジネスセミナー「ビジネスと人権とは」

「ビジネスと人権とは」
令和5年10月14日(土) 14:30～16:00
会場：青森県観光物産館 アスパム9階「南部」(青森市安方1丁目1-40)
定員：40名
参加費：無料
申込先：青森中央学院大学 地域マネジメント研究所 TEL: 017-728-0131
Eメール: koukaikouza@aomorigu.ac.jp

2023年10月14日(土)、青森県観光物産館アスパム9 階研修室「南部」を会場に、令和5年度青森中央学院大学地域マネジメント研究所ビジネスセミナーを開催しました。

「ビジネスと人権とは」をテーマに、講師の吾郷 眞一氏(九州大学名誉教授)に、「ビジネスと人権」について、そもその言説の登場から今日の状況まで、詳しくご講演いただきました。

グローバル化が進展する中、企業活動における人権尊重の指針として、2011年に国連で作られた「ビジネスと人権

に関する指導原則」について、企業がSDGsに取り組む上で人権の尊重が重要であることなど、参加者は熱心に聴講していました。



「東青地域の民俗芸能を通じた地元愛形成促進業務」

青森県東青地域県民局の委託業務として、「東青地域の民俗芸能を通じた地元愛形成促進業務」を請け負い、竹内紀人研究員が主となり事業を実施しました。

その一環として、今別町のいまべつ総合体育館で2024年2月24日(土)に開催された「第1回津軽半島さきっちょ郷土芸能祭(さきっちょフェス)」に、竹内教授とゼミ学生が参加しました。これは、人口減少などで存続の危機にある郷土芸能の後継者育成をめざし、津軽半島地域で活動する芸能団体が演舞・演奏を披露する催しです。

今別町の荒馬保存会や各参加団体による演舞・演奏の合間に、本学の学生が今別小学校、今別中学校の児童と一緒に制作した「さきっちょ特大かるた」を使ったかるた大会を行うなど、地域内外の幅広い世代の方の交流と、郷土の伝統文化の継承を図る場が形成されました。



「八甲田牛レシピ開発業務」



八甲田牛消費拡大協議会(事務局：青森市農業振興センター)の委託業務として、あおり短角牛「八甲田牛」のスネなど低需要部位を活用したレシピ開発を行いました。

青森中央短期大学食物栄養学科の学生は、試作、試食を重ね、学園祭でアンケートを実施するなどして、肉の特徴や県産食材との相性、加工のしやすさなどを踏まえて、最終的に3つのレシピを考案しました。

青森中央学院大学経営法学部の学生は、キャリアプランニング科目内で「八甲田牛ブランド化プロジェクト」を推進し、産地を訪問したり、観光客をターゲットにした観点を組み込んだりして、



八甲田牛のブランド価値向上を目指したレシピを考案しました。

本学学生の開発したレシピに基づいた八甲田牛を使った新商品は、2024年2月19日(月)にホテル青森で開催された「八甲田牛商品開発完成報告・試食会」で、青森市長らにお披露目され、好評を得ました。

『研究年報』第20号発行

ISSN 2433-1732

- Comparative analysis of mean length of utterance and lexical density in individuals with and without autism spectrum disorder
- 地域企業の「三創経営力」強化による地方創生に関する一考察
- 不確実性を前提とした労働供給分析モデルに対する社会経済学的見解
- 自治体オプズマン制度の現状
- 中国における科学技術戦略の展開経路
- 北東北3県の老健における介護職員の現状と課題についてー介護職員の離職要因の分析ー
- 青森県東青地域の買い物弱者支援ー序論
- 地域在宅高齢者の認知機能低下の予防に関する複合型認知症予防プログラムの介入研究ー第1報ー
- 学生版起業塾開催と起業環境整備研究を通して見えてきたこと
- 令和3年度青森市民意識調査にある自由記述文のテキストマイニング分析ー自由記述文の特徴と市民の声ー
- A study on the significance of community farms
- 商店街振興好事例の持続性検証ー青森市新町商店街の事例
- 産業観光に関する日台間の比較研究
- 大学生による関係人口受入支援組織の構築に関する実証研究ーこれからの青森ワーケーションを考察するー
- 「三種型クアオルト」実地研修からの学びー健康なまちづくりとクアガイドの役割ー

青森中央学院大学・青森中央短期大学学術機関リポジトリ
https://acguacjc.repo.nii.ac.jp/